



本製品はMetaTrader4(以下、MT4)、MetaTrader5(以下、MT5)用のトレーディングサポートツール（EA）で、発注前にストップロス（損切り位置）と損失額を指定して発注ボタンを押下すると、ロットを自動計算して発注するツールです。

テイクプロフィット（利食い位置）はストップロスに対しての比（リスクリワード比）で指定することができます。
 リスクリワードを1にするとストップロスとテイクプロフィットは同値となり、例えば2000円の損失を許容するストップロスだった場合、2000円の利益になるようにテイクプロフィットを設定します。
 （※正確にはスプレッドや手数料の関係で1:1ですと微損になります）

成行注文以外にも指値注文や逆指値注文にも対応しております。

発注したポジションの決済はクローズボタンによる手動決済、上述のテイクプロフィットによる決済、ブレイクイーブンによる決済、トレーリングストップによる決済が可能です。

具体的な操作は以下のようになります。

1. 起動前の指定

まず、1回のトレードで許容する損失額を決めます。指定方法は2種類あり、%（Percent）で指定する方法と金額（Amount）で指定する方法があります。

今回の例ではAmountの方を使います。

例えば3,000円（ドル口座であれば20ドル）など、ご自身の資金やトレード手法などで決めて入力してください。

ab	GeneralSettings	-----
123	--RiskMode	Amount
1/2	--Risk	3000.0
1/2	--InitialLinePips	10.0

発注時にテイクプロフィットを設定する場合にはRiskRewardRatioに0より大きい数値を指定してください。上記の例ですと約3,000円の利益が出るようにテイクプロフィットを設定します。（0にするとテイクプロフィットを設定しません）

※ パーセント（%） 指定について

パーセントで指定する場合はRiskModeにPercentを指定し、Riskには「有効証拠金」の「何パーセント」の損失まで許容するかを指定します。Riskには%の指定は不要です（%は入力できません） RiskModeがPercentであればRiskに入力した値は%として認識します。

123	--RiskMode	Percent
1/2	--Risk	1.0
1/2	--InitialLinePips	10.0

← 1%の場合には1.0を入力してください。

2.起動

MoneyManagementTrader を起動すると現在価格の上下に赤い線と水色の線が表示されます。
(線の色はパラメーターで変更可能です)



この二本のラインがストップロスラインです。

水色の線が BUY の場合のストップロス、赤い線が SELL の場合のストップロスです。

3.ラインを移動させて発注

BUY で発注したい場合には水色の線をストップロスにしたい位置に移動させてください。
(SELL で発注したい場合には赤い線をストップロスにしたい位置に移動させます)

今回の例では BUY で発注します。

まずは水色のラインをストップロスに設定したい位置までマウスで動かし、左下の BUY ボタンをクリックします。



これで発注し、自動的にストップロスとテイクプロフィットも設定されます。

なお、発注されるロット数はストップロスの位置と 1 回のトレードで許容可能な損失額から自動的に算出されています。

※最小ロットでも「許容損失額を超える」場合には「最小ロットで発注する」点にご注意ください。

トレーリングストップやブレイクイーブンも使用する設定であれば自動的に適用されます。



4. 決済（クローズ）



テイクプロフィットを設定していない場合や、テイクプロフィットの到達前に決済（クローズ）してしまいたい場合は CLOSE BUY や CLOSE ALL をクリックします。（SELL の場合には CLOSE SELL または CLOSE ALL です）

なお、CLOSE SELL や CLOSE BUY は MoneyManagementTrader を設置した通貨ペアのポジションのみ決済しますが、**CLOSE ALL** は通貨ペアが異なる場合でも MagicNumber が一致していれば決済対象にします。ご注意ください。（文字通り、ALL 決済します）

指値あるいは逆指値による発注について

本製品は成行発注以外にも指値や逆指値による発注にも対応しています。

1. 起動前の指定

成行による発注と同様に、Risk や RiskRewardRatio を設定する他、OrderMode の変更が必要になります。

変数	値
GeneralSettings	-----
--Risk	3000.0
--InitialLinePips	10.0
--RiskRewardRatio	1.0
--OpenMagicNumber	0
--SuccessSound	ok.wav
--FailureSound	timeout.wav
--OrderMode	STOP_ORDER
--PipsMode	MARKET_ORDER
ColorSettings	STOP_ORDER
--CloseMode	LIMIT_ORDER

逆指値発注は STOP_ORDER を、指値発注は LIMIT_ORDER を選択します。

今回の例では逆指値（STOP_ORDER）を選択しました。

2.起動、逆指値発注

MoneyManagementTrader を起動すると現在価格の上下に赤い線と水色の線、そして緑の線画表示されます。

(線の色はパラメーターで変更可能です)



緑の線が発注価格になります。赤い線と水色の線は成行発注と同様です。

あとは、緑の線を発注したい価格に設定、ストップロスも指定して BUY か SELL を押下するだけ逆指値発注が行われます。

その際には成行発注同様、ストップロスとテイクプロフィットが設定されます。

また、トレーリングストップやブレイクイーブンが有効になっている状態で逆指値が通った場合、その（逆指値や指値の）ポジションも操作の対象となります。

リスクリワードの設定について

発注時にテイクプロフィットを設定する場合、RiskRewardRatio に 0 より大きな数値を設定します。(0 の場合にはテイクプロフィットを設定しません)

既定値の 1.0 ですと 50%以上の勝率がないと、利益が出ません。(スプレッドや手数料等を加味すると 55%以上は必要になると思っています)

2.0 にすると (スプレッドや手数料を加味しなければ) 3 回に 1 回勝てればよく (勝率 33.333...%以上)、0.5 にすると 3 回に 2 回勝てなくては利益が出ない計算になります。(勝率 66.666...%以上)

この設定は勝率と非常に深い関係にありますので、ご自身のトレード手法に合った数値を指定してください。

スプレッドの表示

下記に表示される数値はスプレッドです。(Ask から Bid を引いた値を表示しています)



既定値では背景がグレー、文字色は白です。(パラメーターで変更可能)

ボタン類の表示／非表示

X ボタンを押下するとボタンやスプレッド表示が非表示になります。チャートがボタンの裏で隠れて見えない場合等、一時的に隠したい時に使用してください。もう一度 X ボタンを押すと再表示されます。



ボタン類の小型化設定

同梱の設定ファイル MMT_Small.set を「パラメーターの入力」の「読み込み」で読み込ませるとボタンを小型化できます。ボタン類が大きすぎる場合にこちらの設定をご利用ください。（好みで設定を変更することが可能です。設定については 8 ページ目以降の「MoneyManagementTrader の設定」を御覧ください。）

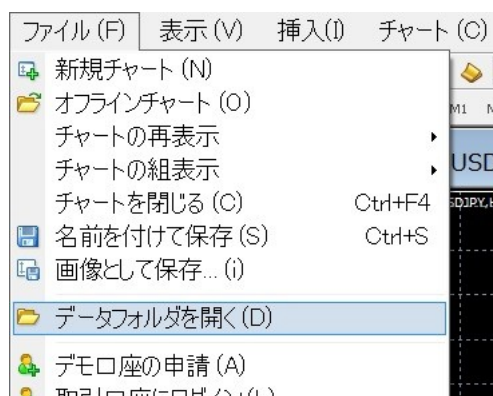


↓



MoneyManagementTrader のインストール

- 1.ダウンロードしたファイル（zip 圧縮ファイル）を解凍し、MT4 の場合には MoneyManagementTrader.ex4 をコピーします。（まだ貼り付けしません）※MT5 の場合には MoneyManagementTrader.ex5 をコピーします。
- 2.MT4(または MT5)を起動し、上部メニューのファイル(F)からデータフォルダを開くをクリックします。

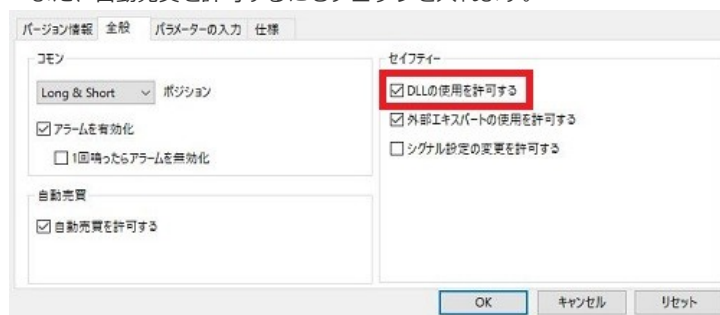


- 3.開いたフォルダ（エクスプローラー）から MQL4→Experts の順に開き、1.でコピーした MoneyManagementTrader.ex4 を貼り付け（ペースト）します。
※MT5 の場合には MQL5→Experts の順に開き、1.でコピーした MoneyManagementTrader.ex5 を貼り付け（ペースト）します。
- 4.MT4(または MT5)を再起動するか、ナビゲーターウィンドウのスクリプト上で右クリック→更新するとナビゲーターウィンドウに MoneyManagementTrader が表示されます。
- 5.MoneyManagementTrader を任意のチャートに設置（ダブルクリックするか、ドラッグアンドドロップ）します。

以下はリアル口座で使用する場合のみ設定が必要になります。（デモ口座の場合、設定する必要はありません）

- 5.MoneyManagementTrader をチャートに設置し、全般タブの DLL の使用を許可するにチェックを入れます。

また、自動売買を許可するにもチェックを入れます。



- 6.パラメーターの MailAddress に購入時のメールアドレスと OrderNumber に注文番号を入力して OK ボタンを押してください。入力情報に誤りがある場合「License error. Please check your license.」と表示されます。パラメーターをよくご確認ください。
「注文番号」がご不明の場合には次ページの「よくある質問」の「注文番号がわかりません」を御覧ください。

※ご注意※

当サイト（直運営ショップ）にてカード決済時に付与される「決済番号（数字のみ）」とは異なります。アルファベットと数字の組み合わせになっている「注文番号」をご入力ください。

なお、ご登録いただけるライセンス（口座番号）は5つまでです。不要なライセンスを削除したい場合には別紙「ライセンス削除説明書.pdf」を御覧ください。

主なエラーメッセージ

「License error. Please check your license.」

ライセンスエラーです。ライセンス情報（MailAddress、OrderNumber）をご確認ください。

「Please check Allow live trading.」

自動売買が許可されていません。「自動売買ボタンがON」になっているか、パラメーター画面の全般タブにある「自動売買を許可する」にチェックがついているかご確認ください。

問題が解決されない場合には次の「よくある質問」も御覧ください。

それでも解決されない場合にはお問合せフォーム等にてお問い合わせをお願いします。

よくある質問

Q.注文番号がわかりません。

A.ご購入ショップによって異なります。

（１）当ショップの場合

当ショップの右上にある「ログイン」からご購入時にご登録されたメールアドレスとパスワードで「ログイン」していただきまして「マイページ」に遷移いたします。

「マイページ」ではご購入商品の一覧が表示され、その左側に「注文番号」が表示されます。

注文番号	購入日	購入金額	特別割引	使用ポイント	送料	代引き手数料	獲得ポイント
■■■■■	2019年7月18日	¥0	¥0	4,900	¥0	¥0	0
請求書 PDF 領収書 PDF							
No.		商品	単価	数量	金額		
1		GridOrderCSV 最新版をダウンロード(v1.00)	¥4,900	1	¥4,900		

（２）ゴゴジャン(GogoJungle)でご購入の場合

最初に「ライセンス登録」でライセンス登録する必要があるございます。ご登録方法につきましては同梱の「ライセンス登録説明書.pdf」を御覧ください。

Q.自宅のPCでは問題なく認証できたが、VPSで動かそうとすると「Error in webrequest. Error code = 0」というエラーが表示されます。

A.セキュリティ設定によって通信が制限されているようです。

下記のサイトを参考に IE ECS の管理者のセキュリティ強化構成を OFF にしてみてください。

<http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/0808/01/news144.html>

認証し、設定を適用した後はセキュリティ強化構成を ON に戻していただいても問題ないと思います。

（ただし、MT4 を再起動した場合には再度認証しますのでセキュリティ強化構成を OFF にして再認証する必要があります）

※セキュリティ強化構成を変更した後、MT4 の再起動をしてから AutoOrderModifyEAPro を再設置してみてください。

（VPS の再起動が必要になる場合もあるようです。私は不要でしたが、一部のお客様では再起動する必要があったというご報告がありました。）

MoneyManagementTrader の設定

ナビゲーターウィンドウに表示されている AutoOrderModifyEAPro を任意のチャートにドラッグ & ドロップします。

全般タブ：「自動売買を許可する」にチェックを入れてください。（リアル口座で使用する場合には DLL の使用を許可するにもチェックを入れてください。）

パラメータータブ：以下の説明に従って必要な設定をしてください。

各パラメーター設定

License（ライセンス）

MailAddress：購入時のメールアドレスを設定します。

OrderNumber：購入時の注文番号を設定します。

GeneralSettings（全般的な設定）

RiskMode：リスクの入力方法を指定します。Percent を選択すると「有効証拠金の何%まで許容するか」という指定になり、Amount を選択すると「入力された損失金額まで許容する」という指定になります。既定値は Percent です。

Risk：1 トレードで許容できる損失を指定します。損失の指定方法は RiskMode によります。**既定値は0ですので必ず指定してください。** RiskMode が Percent の場合、入力した数値は%として認識されます。RiskMode が Amount（金額）の場合には口座の通貨に依存します。（円口座であれば円で、米ドル口座であれば米ドルで指定）

InitialLinePips：起動時に表示されるストップロスのラインが現在価格から何 Pips 離れた箇所に表示されるかを指定します。既定値は 10 です。M1 や M5 などの短期的なチャートでトレードされる方は小さめに、H4 や D1 などの長期的なチャートでトレードされる方は大きめに指定しておくと思えます。

RiskRewardRatio：ストップロス（損切り）に対するテイクプロフィット（利食い）の幅です。既定値は 1 で、これですとストップロスと同じ幅のテイクプロフィットを設定します。2 にすると倍になり、0.5 にすると半分になります。

OpenMagicNumber：発注時、ポジションに付与するマジックナンバーです。発注したポジションを他の EA 等で制御したい場合に使用します。特にご利用でなければ既定値の 0 で問題ありません。

SuccessSound：発注に成功した際に再生する音です。既定値は ok.wav。音を変更したい場合には MT4 または MT5 のインストールフォルダの下、Sounds フォルダにある wav ファイルを指定してください。

FailureSound：発注に失敗した際に再生する音です。既定値は timeout.wav。音を変更したい場合には MT4 または MT5 のインストールフォルダの下、Sounds フォルダにある wav ファイルを指定してください。

OrderMode：発注方法を指定します。MARKET_ORDER が成行発注、STOP_ORDER が逆指値発注、LIMIT_ORDER が指値発注です。既定値は MARKET_ORDER（成行発注）です。

PipsMode：1pip が何ポイントかを選択します。FX は 1pip が 10points。CFD は 1pip が 1point になります。既定値は FX はです。1pip を 1point として計算したい場合には CFD に変更してください。

CloseSettings（決済方法の設定）

CloseMode：決済時のモード設定です。ALL はポジションの決済、待機注文の削除（キャンセル）のどちらも実行します。CLOSE_ONLY はポジションの決済のみで待機注文の削除は行いません。DELETE_ONLY は待機注文の削除のみで、ポジションの決済は行いません。お好みで設定を変更してください。既定値は ALL です。

UseMultipleClose：CLOSE SELL ボタンと CLOSE BUY ボタンの動作を変更します。true にすると対象となるポジション全てを決済、false の場合には新しいポジションから 1 つずつ決済していきます。既定値は true です。

CloseAllVisible : CLOSE ALL ボタンの表示／非表示を切り替えます。CLOSE ALL ボタンは非常に強力なボタンで、クリックするだけですべてのポジションを決済してしまいます。便利な半面、誤ってクリックしてしまうこともありますので、あまり使用されない方は false に変更、非表示にしてください。既定値は true で表示された状態になっています。

CloseAllMode : 全決済時のモード設定です。CloseMode と同様で、ALL、CLOSE_ONLY、DELETE_ONLY から選択できます。既定値は ALL です。

TrailingSettings (トレーリング設定)

UseTrailingStop : トレーリングストップの使用有無を指定します。既定値は false で無効になっていますので、使用される場合には true に変更してください。

StartTrailingStop : トレーリングを開始する位置を pips で指定します。既定値は 20 です。20 の場合には利益が 20pips になった場合にトレーリングストップが開始されます。

TrailingDistance : トレーリングが開始した際にストップロスを置く位置です。既定値は 10 です。10 場合にはトレーリングが開始した位置から 10pips の位置にストップを移動します。更に利益が増加した場合にはトレーリングは 10pips の幅を維持するようにストップロスを移動します。(利益が減少する場合にはストップロスの位置は動きません)

BreakEvenSettings (ブレイクイーブン設定)

UseBreakEven : ブレイクイーブンの使用有無を指定します。既定値は false で無効になっていますので、使用される場合には true に変更してください。

StartBreakEven : ブレイクイーブンの開始する位置を pips で指定します。既定値は 10 です。10 の場合には利益が 10pips になった場合にブレイクイーブンが開始されます。

BreakEvenProfit : ブレイクイーブンが開始された場合に保持する利益を pips で指定します。既定値は 1 です。1 の場合には 1pips になるようにストップロスを移動します。

ColorSettings (色設定) ※ラインや矢印の色を変えたい場合の設定です。

BuyStopLineColor : BUY ストップロスのライン色を指定します。既定値は Aqua です。

SellStopLineCColor : SELL ストップロスのライン色を指定します。既定値は Crimson です。

OrderLineColor : 指値や逆指値で使用する、発注価格のライン色を指定します。既定値は Green です。

OpenBuyArrowColor : BUY 注文を行った際に表示される矢印の色指定です。既定値は None で矢印を表示しません。(MT4 のみ)

OpenSellArrowColor : SELL 注文を行った際に表示される矢印の色指定です。既定値は None で矢印を表示しません。(MT4 のみ)

CloseBuyArrowColor : BUY ポジションをクローズした際に表示される矢印の色指定です。既定値は None で矢印を表示しません。(MT4 のみ)

CloseSellArrowColor : SELL ポジションをクローズした際に表示される矢印の色指定です。既定値は None で矢印を表示しません。(MT4 のみ)

DeleteBuyArrowColor : BUY の指値や逆指値の注文を削除 (キャンセル) した場合に表示される矢印の色です。既定値は None で矢印を表示しません。(MT4 のみ)

DeleteSellArrowColor : SELL の指値や逆指値の注文を削除 (キャンセル) した場合に表示される矢印の色です。既定値は None で矢印を表示しません。(MT4 のみ)

※MT5 では矢印の色を変更できません。ArrowColor パラメーターは MT4 のみ存在します。(MT5 にはありません)

OrderButtonSettings（発注ボタン設定） ※発注ボタンの位置や大きさ、色などを変えたい場合の設定です。

OpenTitleButtonX : SELL ボタンや BUY ボタンの X 座標を指定します。既定値は 10 です。

OpenTitleButtonY : SELL ボタンや BUY ボタンの Y 座標を指定します。既定値は 120 です。

OpenTitleButtonFontSize : SELL ボタンや BUY ボタンのフォントサイズを指定します。既定値は 11 です。

OpenTitleButtonHeight : SELL ボタンや BUY ボタンの高さを指定します。既定値は 40 です。

OpenTitleButtonWidth : SELL ボタンや BUY ボタンの幅を指定します。既定値は 120 です。

OpenSellFontColor : SELL ボタンの文字フォント色を指定します。既定値は White です。

OpenSellColor : SELL ボタンの色を指定します。既定値は Blue です。

OpenBuyFontColor : BUY ボタンの文字フォント色を指定します。既定値は White です。

OpenBuyColor : BUY ボタンの色を指定します。既定値は Red です。

SpreadTextSettings（スプレッドテキスト設定） ※スプレッド表示の位置や大きさ、色などを変えたい場合の設定です。

SpreadTextX : スプレッドテキストの X 座標を指定します。既定値は 250 です。

SpreadTextY : スプレッドテキストの Y 座標を指定します。既定値は 80 です。

SpreadTextFontSize : スプレッドテキストの文字フォントサイズを指定します。既定値は 11 です。

SpreadTextHeight : スプレッドテキストの高さを指定します。既定値は 40 です。

SpreadTextWidth : スプレッドテキストの幅を指定します。既定値は 80 です。

SpreadTextFontColor : スプレッドテキストの文字フォント色を指定します。既定値は White です。

SpreadTextBackColor : スプレッドテキストの背景色を指定します。既定値は Gray です。

SpreadTextBorderColor : スプレッドテキストの枠線色を指定します。既定値は Black です。

VisibleButtonSettings（表示／非表示切り替えボタン設定） ※X ボタンの位置や大きさ、色などを変えたい場合の設定です。

VisibleButtonX : X ボタンの X 座標を指定します。既定値は 250 です。

VisibleButtonY : X ボタンの Y 座標を指定します。既定値は 120 です。

VisibleButtonFontSize : X ボタンの文字フォントサイズを指定します。既定値は 11 です。

VisibleButtonHeight : X ボタンの高さを指定します。既定値は 40 です。

VisibleButtonWidth : X ボタンの幅を指定します。既定値は 40 です。

VisibleButtonFontColor : X ボタンの文字フォント色を指定します。既定値は Black です。

VisibleButtonBackColor : X ボタンの色を指定します。既定値は LightGray です。

CloseButtonSettings (決済ボタン設定) ※決済ボタンの位置や大きさ、色などを変えたい場合の設定です。

CloseButtonX : クローズボタンの X 座標を指定します。既定値は 10 です。

CloseButtonY: クローズボタンの Y 座標を指定します。既定値は 40 です。

CloseButtonFontSize : クローズボタンの文字フォントサイズを指定します。既定値は 11 です。

CloseButtonHight : クローズボタンの高さを指定します。既定値は 40 です。

CloseButtonWidth : クローズボタンの幅を指定します。既定値は 120 です。

CloseSellColor : CLOSE SELL ボタンの色を指定します。既定値は MidnightBlue です。

CloseSellFontColor : CLOSE SELL ボタンの文字フォント色を指定します。既定値は White です。

CloseBuyColor : CLOSE BUY ボタンの色を指定します。既定値は Maroon です。

CloseBuyFontColor : CLOSE の BUY ボタンの文字フォント色を指定します。既定値は White です。

CloseAllButtonSettings (全決済ボタン設定) ※全決済ボタンの位置や大きさ、色などを変えたい場合の設定です。

CloseAllButtonX : CLOSE ALL ボタンの X 座標を指定します。既定値は 250 です。

CloseAllButtonY : CLOSE ALL ボタンの Y 座標を指定します。既定値は 40 です。

CloseAllButtonFontSize : CLOSE ALL ボタンの文字フォントサイズを指定します。既定値は 11 です。

CloseAllButtonHight : CLOSE ALL ボタンの高さを指定します。既定値は 40 です。

CloseAllButtonWidth : CLOSE ALL ボタンの幅を指定します。既定値は 120 です。

CloseAllButtonColor : CLOSE ALL ボタンの色を指定します。既定値は Yellow です。

CloseAllButtonFontColor : CLOSE ALL ボタンの文字色を指定します。既定値は Black です。

注意事項

リアル口座でご利用になる前に、まずはデモ環境等で動作をご確認ください。

当ツールを利用したことに関連して生ずる損害について、一切責任を負いません。（自己責任でお使いください）

ご購入者は個人使用・業務使用に関わらず自由にご使用いただいてもかまいません。

当ツールの加工・販売等は禁止いたします。

動作確認は Windows10 で動作する MT4・MT5 上でのみ行っております。それ以外の環境では動作しない可能性があります。

なお、ライセンスは 1 つのご注文につき 5 ライセンス（5 口座まで）となっております。5 口座までは同時に使用できます。それ以上必要な場合には申し訳ございませんが、もう 1 つご購入ください。

不要なライセンスは削除することができます。ライセンス申請説明書.pdf に削除方法が書いておりますので、削除したい場合にはそちらを御覧ください。